



ニュース&トピックス

裏の駐車場について

2/18～6/24まで、トライアングルの入っている放生館の塗装工事が行われます。現在お使いいただいている建物裏の駐車場ですが、足場等を組むことになるため、工事期間中はお使いいただくことができません。期間中は近隣の有料駐車場等をお使いくください。ご不便をおかけしますがよろしくお願いたします。

保護者面談について

2月末から、保護者の方との面談を随時行いたいと思います。日程が決まり次第、メールまたは口頭でお知らせしますので、よろしくお願いたします。

ご意見・ご感想をお寄せください

第5回目のニュースレター、いかがでしたか。まだまだ、内容を充実させていきたいと思っています。

皆様のご協力をお願いします。ご意見・ご感想等、なんでも結構です。下のメールアドレス宛にどしどしお送りください。お待ちしております。

triangle@shizuoka-fukushi.or.jp

梅の つぼみが春を知らせる季節となりました。いかがお過ごしですか。早いもので、あと一カ月余りで年度が変わります。中学生は高校受験が始まり、私立高校の合格発表もすぐ目の前ですね。お子さんたちが残りの学校生活を満喫し、良い春を迎えられるように心から願っています。

ニュースレター第5号をお届けします。子育ての参考にいただければ幸いです。

日本の文化とほめること

常葉大学教育学部 初等教育課程講師 野村 和代

「子どもをほめていますか？」親御さんに聞くと、ほとんどの方から「YES」「そうするようにしている」という答えが返ってきます。また小中学校の先生方に聞いてみると「YES」という答えは多いのですが、じっくり聞いてみると「ほめるだけでは不十分。叱ることも重要」という条件つきだったり…「ほめること」についての価値観は人それぞれ…のようですが、年代や立場による影響は大きい印象を持っています。



ペアレント・トレーニング（以下ペアトレ）は保護者が子どもによりよいかかわり方を学ぶプログラムですが、「ほめる」に始まり「ほめる」に終わるといっても過言ではありません。「ほめる」ことについては、全面的に「賛成！」という人もいれば、条件付きの賛成だったり、「世の中甘くない」だったり、モヤモヤがわき上がってくるトピックです。

親御さんへの質問に話をもどりますが、親御さんに「最近、ほめられましたか？」と聞くと、ほとんどの方が目を斜め上にやって『最近』のことを思いめぐらせ、「うーん…たぶん、ないです」と答えます。子どもにはほめるけど、自分は…そんなパターンは多いと思います。

日本は「察する」ことを中心とした「あいまいな（互いに察し合う）」コミュニケーションを軸にしています。そこから、思いやり深く、謙虚さが気質として育まれていったといえますが、その気質がちょっと窮屈だなどと思っている人も多いのではないのでしょうか。その窮屈さは、相手の状況を察する際に「あの人もガマンしているから、わたしも…」という「ガマン」が基本の姿勢になるから



らなのかもしれません。ガマンしないと「恥ずかしいことだよ」と周りからの視線を感じて、嫌な気持ちを飲み込んでガマンする…小さなガマンを積み重ねていくと、相手がガマンしていることについての感受性が鈍くなることもあります。こうした土壌があり、もともと「ほめる」ことがあまり得意ではない文化なのかもしれません。

子ども達と一緒にいると、そんな前提を「ぶっこわす」勢いに巻き込まれて、自分の世界が（無理やり？）広がっていくように感じることがあります。でも、子ども達に私たちの世界も少し知ってほしい…という気持ちはやっぱりあります。

「いいね。すてきだね」子どもをほめる瞬間は、子どもと保護者が同じ目線で一つのことを共有できる瞬間であるような気がします。実は、ほめることはそんなに難しいことではありません。がんばっている、ガマンしている自分に気づいて、またふと子どもが何を見つめているのか、ぼんやり眺めてみると、いつもとは少し違ったコミュニケーションがはじまるかも…ぜひ子どもと自分に目を向けてみてください。



第1回ペアトレ教室終了



ペアレント・トレーニングの専門家、野村和代先生による『子どもの力を伸ばす』ためのかわり方のコツを学ぶ教室が終了しました。応用行動分析学の考え方をベースにしたほめ方や効果的な叱り方を科学的に学んだ結果、お母さんたちにどのような変化があったのでしょうか？何人かのお母さんに感想を伺いました。

①とても納得できる内容でした。子どもも少しずつ改善が目に見えて現れてきています。(Mさん) ②習慣にしていくための工夫の仕方がわかってよかったです。(Iさん)

③とても意識が変わりました。自分の子どもがほめられ好きな様子がたくさん見られ、これからもたくさんほめポイント探していきたいと思いました。(Sさん)

この教室は、これからも開催していく予定です。今回参加できなかった方は次回、ぜひ参加してください。子育ての意識が変わります。まずは受けて欲しい絶対お勧めの教室です。

教室のひとこま



みんなで〇×クイズ。お友だちの出したクイズに、思い思いのカードを掲げて答えを待ちます。



折り紙が得意なお友だちに折り方を教えてもらいました。教え方が上手で、みんな無事に完成して嬉しそう！

教室の様子はホームページでも紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



みんなで椅子取りゲーム！お友だちが鳴らす音を良く聴いて音が止まったら、さあ～、椅子に座れ～！



鬼の口まで垂れている涙に当たると音が鳴る！みんな何回も挑戦して、入ったボールの数を競ったりして遊びました。

家庭で使ってほしい育児のヒント

「やっちゃダメ！」と言われることをあえてやろうとするので困っているという相談をいただくことがあります。この場合、3つの原因が考えられます。①「いけない」と言われてもどうしたらいいかわからない。②「いけない」とわかっているのにわざとやっている。③「いけない」と思っているのに衝動的に体が動いてしまうケース。今回はこのうちの2つ目、わざとやってしまうケースについて考えてみましょう。

お母さんたちは、子どもがいい子にしている時、手がかからない時というのは関心を払わないことが多いと思います。ところが、子どもがいけないことをしている時には否応なしに関わるようになります。このような不適切な対応を続けていると、子どもは「怒られてもいいから、関わってほしい」と、意識するしないにかかわらず、問題行動をとってしまうことになるわけですね。お母さんが困っている問題行動が、実はお母さんに原因があるということかもしれません。

スタッフのオススメ～新年度に向け、心も体もリフレッシュ編～

間も なく子どもたちにとって楽しい春休みです。夏休み程たくさんの宿題はありませんので、ご家庭の計画にもとづいた生活を送りやすい時とも言えます。日ごろ、自分の好きな生き物やキャラクターの話をする時の子どもの目は、キラキラ輝いています。ご家庭においても、「見て、見て、聞いて、聞いて」の声を受け止め、親子でゆっくり話がするのも、長期休みの利点です。しかし、気を付けたいのは生活のリズムの崩れです。それを防ぐために、いつもの時間に起き、いつもの時間に寝ることや、宿題は計画的に進めることが大事です。やり終えた宿題は大人が見届け、お子さんのがんばりを認め、励ましてあげましょう。また、長期休みだからこそできるお手伝いを継続させると、お子さんの良さを再発見すると思います。子どもと共に行動することで、会話もはずみます。春休みは、新学年に向けて心の準備をする時でもあります。2年生になったらこうしたい。3年生になったらこれをがんばりたい。下級生に、こんなことをしてあげたい等々。子どもの思いがふくらんでいきます。その思いに耳を傾けながら、見守っていきましょう。この1年で心も体も大きく成長した子どもたちが、希望を持って新たな学年に進めるよう願っております。(松井 祥子)

編集後記 Kくんは、お母さんがお迎えに来てなかなか帰ることができません。その日も帰り際に玄関先でぐずっていると、中学生のTちゃんが「かっこいい靴だね。履いて見せて！」と声をかけました。するとどうでしょう。さっきまでぐずっていたKくんが、すぐに靴を履いて手を広げて見せてくれたのです。これには周りにいた先生たちも驚きました。大人は気になるところを指摘してなんとかしようと思ってしまうのですが、Tちゃんは上手にKくんの気持ちを動かして見せたのです。脱帽！（M）

トライアングル
放課後等デイサービス

特定非営利活動法人 しずおか福祉の街づくり

放課後等デイサービス トライアングル

〒420-0032 静岡市葵区両替町1丁目7番5号 放生館2F

TEL：054-273-1177 FAX：054-266-4037

ホームページ：https://www.shizuoka-fukushi.or.jp/

メールアドレス：triangle@shizuoka-fukushi.or.jp